

2010年春。中部大学は学術機関リポジトリシステムを構築、
中部大学学術情報リポジトリとして、試験公開を開始しました。

* 2009年度成果報告

- ・中部大学学術情報リポジトリ構築
- ・紀要最新号登録(CiNii未収録分)
- ・9誌33冊270論文登録
- ・機関リポジトリ運営委員会設置
- ・大学協議会/教授会で広報活動
- ・2010年2月22日より試験公開開始

* 2010年度運用計画

- ・正式公開
- ・リポジトリポータルへのデータ提供
- ・バックナンバーの電子化, 登録
(CiNii未収録紀要)
- ・学位論文電子化, 登録
- ・OPAC連携の実現

The screenshot displays the Chubu University Academic Information Repository (IR) interface. The top section shows the search input page with fields for title, keywords, and publication year. The bottom section shows a detailed record for a journal article, including the title, author, and publication details.

検索項目入力画面

検索条件のクリア

☒ 論文を探す ☐ 学内刊行物を探す

☒ 全文検索 ☐ 本文が登録された雑誌検索

タイトル= 国際英語論 (雑誌名・論文名を入力してください)

本文=

キーワード=

発行年=

著者名=

書誌詳細

本文を表示

論文書誌規則<XC09000093>

タイトル 「国際英語論」の視点から英語を学ぶ意義

タイトル(その他) コクサイエイゴ ロンノシテンカラエイゴ オマナブイギ

タイトル(その他) Why Teach World Englishes in Japan Now?

作成者 堀澤, 正 | シオザワ, タダシ | Shiozawa, Tadashi

日本十進分類法 830.7

公開者 中部大学人文学部

登録日 2010-01-14

資料種別(NII TYPE) Departmental Bulletin Paper

フォーマット application/pdf

ISSN 13446037

雑誌名 人文学部研究論集

号 22

開始ページ 63

終了ページ 91

刊行年月日 2009-07

言語 日本語

<http://ir.bliss.chubu.ac.jp/>

中部大学附属三浦記念図書館 学術情報リポジトリ担当

Tel : 0568-51-1111 内線 2848, 2858

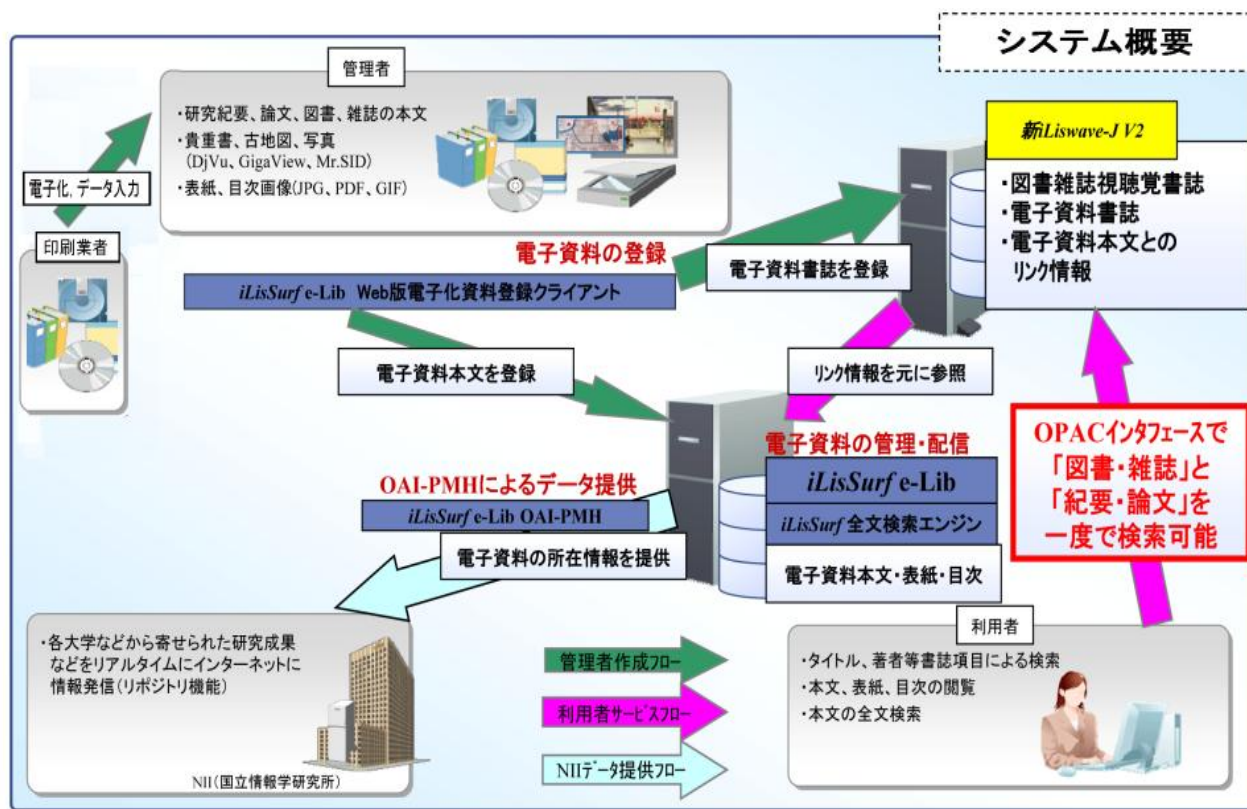
E-mail : ir@bliss.chubu.ac.jp

業務システム (iLiswave-J) と連携可能な iLisSurf e-lib を採用

誰でも使える！ 業務システムから書誌情報の作成、管理が可能

誰でも作れる！ ボーンデジタルで基本データ作成、一括登録ツールでメタデータ登録

誰でも探せる！ OPACで図書・雑誌・論文の検索が可能、本文も参照可能



(2011年度より)



中部大学学術情報リポジトリ

全世界に中部大学の研究情報、研究成果を発信！
2010年春。正式公開に向けて学内で試験公開中。

*学術機関リポジトリ

学術機関リポジトリとは、大学がその知的生産物を電子的な形で集積し、保存、公開するための電子アーカイブシステムです。登録された成果物はインターネットを通じて全世界に発信され、アクセスした利用者に学術情報を無料で提供します。学術機関リポジトリには、紀要論文のほかに、学位論文、研究報告書、科研費報告書、学会発表論文、学術雑誌掲載論文などが登録できます。

2010年春、中部大学はこの学術機関リポジトリシステムを構築し、**中部大学学術情報リポジトリ**として正式公開に向けて学内で試験公開を開始しました。**中部大学学術情報リポジトリ**には、現在、以下の刊行物から270件の論文等のコンテンツが登録されています。また、最新号は順次登録されます。

登録雑誌	登録巻号(年)	コンテンツ数
工学部紀要	第44巻(2008)	10
経営情報学部論集	第23巻(2008)	6
貿易風：国際関係学部論集	Vol. 4 (2009)	27
人文学部研究論集	第20号～第22号(2008-2009)	17
応用生物学部紀要	Vol. 6 (2007)	8
産業経済研究所紀要	第15巻～第19巻(2005-2009)	34
生物機能開発研究所紀要	No. 1 ～ No. 9 (2001-2009)	72
生命健康科学研究所紀要	Vol. 5 (2009)	10
大学教育研究	Vol. 5 ～ Vol. 8 (2006-2008)	86



*中部大学学術情報リポジトリサイト

<http://ir.bliss.chubu.ac.jp/>



中部大学学術情報リポジトリに
関するお問い合わせはこちらまで

中部大学附属三浦記念図書館 学術情報リポジトリ担当
Tel: 0566-51-1111 内線 2848, 2858
E-mail: ir@bliss.chubu.ac.jp

2010/04/23

ACCADEMIA

中部大学学術情報リポジトリ

学監 総合工学研究所長 教授 稲崎一郎



本学に着任し最初に感じたのは、多くの有為な研究者が在籍し、学術的にも優れた、かつユニークな研究が行われていると感心したことだった。また、多くの企業との産学連携も盛んに行われ、さすが「中部」だと感心するにふさわしい大学だと感じた。と、同時に、その研究内容、業績に対して、世間の知名度は失礼ながら今ひとつではないだろうか、とも感じていた。本学の真実を伝えるために、何か良い手段はないかと考えていた折、総合学術研究所の会議で、学術機関リポジトリ（以下、リポジトリ）なるものが話題に上ったことから、この話は始まる。

リポジトリとは

桜の花が色づき始めた2010年春。本学の学術機関リポジトリ「中部大学学術情報リポジトリ」の試験公開を開始した。このリポジトリ構築は、国立情報学研究所の CSI 委託事業に採択され、総合学術研究所を主管とし、実務を附属三浦記念図書館が担当して運用している。

まずは簡単にリポジトリについて説明しよう。オープンアクセスという概念がある。文献をインターネット上で無料で公開しようという考え方だ。リポジトリはこのオープンアクセスを実現するための手段である。リポジトリ（英: Repository）には、貯蔵所、倉庫、宝庫などの意味があり、大学（学術機関）がその知的生産物を電子的な形で収集、保存、公開するための電子アーカイブ・システムとその環境を提供するサービスをいう。つまり、大学とその構成員が生み出した研究成果を、インターネットを通じて世界に無償で提供するシステムで、研究成果の社会還元、視座向上、散逸の防止などを目的として構築されている。2010年4月末で国内約150機関、全世界ですでに1400機関以上の学術機関で構築されており、中部地方の私立大学で最

初にリポジトリを構築したのは本学である。

リポジトリに登録されるコンテンツ（内容、中身）は、紀要論文をはじめ、研究報告書、学位論文、科研費報告書、学会誌発表論文、学術雑誌掲載論文などで、本学の場合、初期登録コンテンツを学部紀要、研究所紀要とし、270件の紀要論文を電子化して登録した。紀要についてはバックナンバーも含め完全電子化を目指している。その他、学位論文、科学研究費報告書も今後登録する予定だが、それ以外にも、講義ノート、教材、シラバスなども登録できるので、日常の研究教育活動の成果もぜひ登録していただきたい。コンテンツは表紙、目次、論文本文を PDF またはイメージ画像で登録し、紀要名、論文名、著者名などの検索はもちろんのこと。論文本文の全文検索も可能となっている。また、Google 等の検索対象にもなり、検索結果から直接リポジトリへアクセスされることになる。

リポジトリの意義

著作権という言葉が最近よくマスメディアに出てくる。文字通り著作権者がその創作物の利用を支配することを目的とする権利で、知的財産権の1つに当たる。この著作権処理はなかなか煩雑で、リポジトリにコンテンツを登録、公開するためには複製権と公衆送信権についての許諾が必要となる。また、すべての共著者に対して許諾を得ることが必要だ。リポジトリに登録する際、著作権で不安があれば図書館に相談したい。なお、学術雑誌掲載論文は著作権が出版社に帰属するものが多いが、著者最終稿（査読修正後に出版社が受理した稿）の登録は許可されている場合が多いので、研究者の方々は最終稿を必ず保存しておいていただきたい。

リポジトリの特徴に、外部サイトへのデータ提供がある。OAI-PMH プロ

トコルにより、リポジトリポータルと呼ばれるサービス・プロバイダ（データを収集してそれを利用したサービスを提供するサイト）にデータを提供することができる。国内では JAIRO（国立情報学研究所機関リポジトリポータル）、海外では OAlster（ミシガン大学電子資料ポータルサイト）などのサービス・プロバイダが自動的にデータを収集し、自サイトに登録することで世界中から本学のリポジトリが検索されることになる。本誌が刊行される頃には先生方の論文が世界中の研究者に読まれるかもしれない。

研究論文は流通し評価され、初めて価値のあるものになる。リポジトリに論文を登録することは、研究者としての社会的説明責任を果たし、研究成果を共有することにより世界にさらなる知的発展をもたらすことだと思う。その意味で今回のリポジトリ構築は大きな意義があるといえる。

最後に

最後に重要なお願いをひとつ。Repository には、実は「埋蔵所」という意味もあるそうだ。中部大学の研究者諸賢、知の宝庫たるリポジトリを今の埋蔵所にしないために「中部大学学術情報リポジトリ」への論文提供にご協力をお願いします。



<http://ir.bliss.chubu.ac.jp/>